

「地域共生社会」創出プロジェクト

【目指す社会の姿】

- 地域住民が身近なところで触れあえる空間があり、日常的に声を掛け合うなど、住民同士の絆が育まれている。
 - 子どもから高齢者まで、誰もが地域で見守られ、受け入れられる環境が整備され、誰も孤立することのない社会となっている。
- ⇒ 「社会像」として整理した内容を記載

イメージ図・イラスト



分野横断的視点を要する取組テーマ

【取組テーマ①】(仮称)地域共生の居場所づくり

まちなかや各拠点、さらにはオンライン空間など、様々な場所に多世代が交流できる「居場所」があり、子どもから高齢者など、誰もが交流し、時に学び合い、支え合うことができる環境づくりを進め、「見えづらい」問題に寄り添い、支え合うことができるまちを目指す。

取組概要

【取組テーマ②】(仮称)地域共生の担い手づくり

地域課題の解決に対し、ソーシャルビジネスなどを通じた民間企業の参画や関係人口の拡大による地域外の人材の参画など、新たな担い手の参画を促進するとともに、大学やNPOなどの地域の担い手との連携を強化するなど、多様な主体による地域づくりの実現を目指す。

取組概要

【取組テーマ③】複雑化・多様化する問題を丸ごと受け止められる体制づくり
 複雑化・多様化する個人や家庭が抱えるニーズに対応していくことができるよう、本人や世帯の属性にかかわらず受け止める体制づくりや、既存制度の狭間にある課題の解決を図るなど、関係機関が分野を越えて連携し、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりを目指す。

包括的支援体制の構築



居場所づくり

